



防災講座特別編 9・6北海道胆振東部地震から2年

忘れていませんか？ 災害への備え！

9月は防災月間でした。一昨年には胆振東部地震も発生しています。一方、コロナ禍で7月に予定していた町防災訓練や各町内会の訓練も中止を余儀なくされ、防災体制は新たな対応に迫られていますが、万が一に備えた家庭における備蓄の大切さは変わりません。防災講座も「備蓄」に焦点を当てました。

非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？

★自宅が被災した時は、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



→非常用持ち出しバッグの内容の例（人数分用意しましょう）

- ・飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- ・貴重品（貯金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ・救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ・ヘルメット、軍手、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器

※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳瓶なども用意しておきましょう。

プラス

感染症防止の備え

避難所における 新型コロナウイルス感染症対策

台風や豪雨などの災害が発生した場合、災害によっては町が開設する避難所に多くの方が避難します。そのため新型コロナウイルスをはじめとする感染症などの感染拡大のリスクが高まります。避難所ではソーシャルディスタンス・検温・手の消毒を実施できる体制をとりますが、自分の身は自分で守ることを意識し、感染予防の準備と早めの避難を心掛けましょう！

マスク、体温計、消毒液、せっけん、タオル、スリッパ、ビニール袋など

